



2023年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社コンフィデンス
代表者名 代表取締役社長 澤岷 宣之
(コード番号：7374 東証グロース)
問合せ先 取締役 管理本部長 永井 晃司
(TEL. 03-5312-7700)

2023年3月期決算補足説明資料（書き起こし）公開に関するお知らせ

当社は、2023年5月12日に2023年3月期決算説明会を動画配信という形で公表いたしました。当該説明内容について、株主ならびに投資家の皆様への公平な情報開示の観点から、決算補足説明資料（書き起こし）として公開することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期決算補足説明資料（書き起こし）の概要

当資料は、本日公開しました2023年3月期決算説明会の中で説明を行いました内容を書き起こし資料としてまとめ、その内容を共有するものであります。

ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております点、ご容赦ください。

2. 参考情報

決算説明動画 URL を以下に掲載しておりますので、併せてご確認いただきますようお願い申し上げます。

【2023年3月期決算説明会】

1. 公開日時：2023年5月12日（金） 15:45～
2. 説明者：代表取締役社長 澤岷 宣之
取締役 管理本部長 永井 晃司

■決算説明会動画はこちらからご確認いただけます

[2023年3月期決算説明会](#)

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社コンフィデンス IR担当

TEL：03-5312-7700 E-Mail：ir@confidence-inc.jp

以 上



2023年3月期

通期決算説明資料

株式会社 コンフィデンス
証券コード：7374

澤岬宣之(以下、澤岬):

みなさま、こんにちは。

株式会社コンフィデンス代表の澤岬でございます。

本日はご視聴いただきまして誠にありがとうございます。

これより、株式会社コンフィデンス 2023年3月期 通期決算説明会を開催いたします。

今回の説明会は、私と取締役CFOの永井が担当させていただきます。

本日は宜しくお願い致します。

INDEX

目次

01

P.3

エグゼクティブサマリー

Executive Summary

02

P. 11

当社の概要

Company Overview

03

P. 14

連結及びセグメント業績

Consolidated Financial Results and Segment Results

04

P. 25

株主還元

Dividend Distribution

05

P. 27

成長戦略の進捗
／事業トピック

Progress of Growth Strategies
／Business Topic

06

P. 30

合併契約の概要

Overview of Merger Agreement

2

澤岬:

本日当社よりご説明させていただく内容はこちらとなります。

まず、私から当資料の「サマリー情報」について説明させて頂き、

その後、各項目の詳細について永井よりご説明いたします。

01

エグゼクティブサマリー

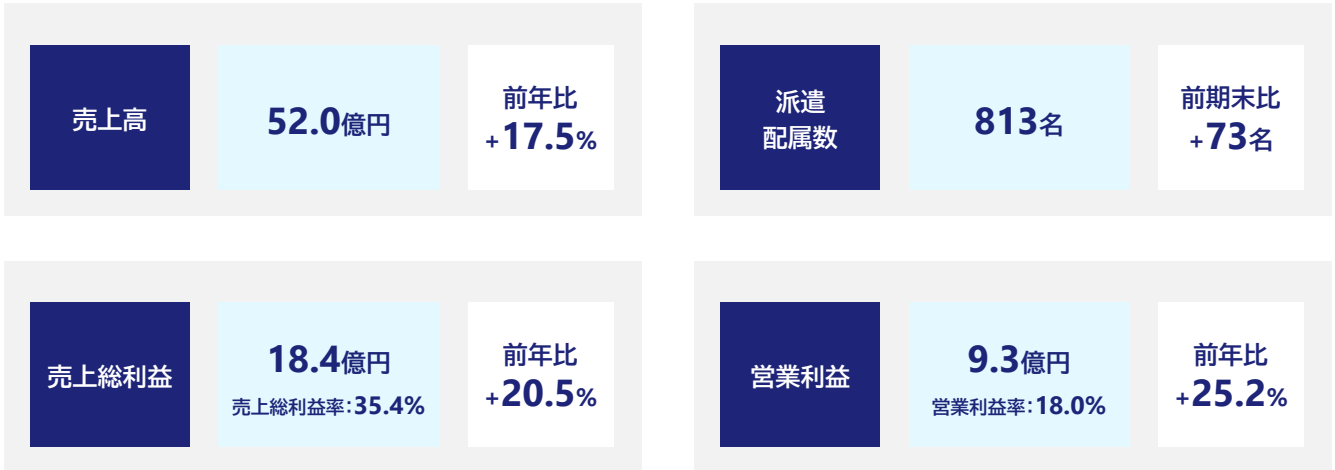
Executive Summary

(説明省略)

2023年3月期 決算ハイライト

- 売上高及び各段階損益について、**過去最高の業績を達成**
- 売上高は**17.5%**、営業利益は**25.2%**の成長、また、営業利益率については**18.0%**で着地

■ 通期 実績



* 百万円単位を四捨五入して表示

澤岬:

まず、はじめに2023年3月期の決算ハイライトについて説明させていただきます。

2023年3月期の売上高は、前年比17.5%増の52億円で着地しております。

売上高の成長に関して、当社が最も重視している指標である派遣配属数は813名と前年比で73名の増となっており引き続き成長基調となっております。

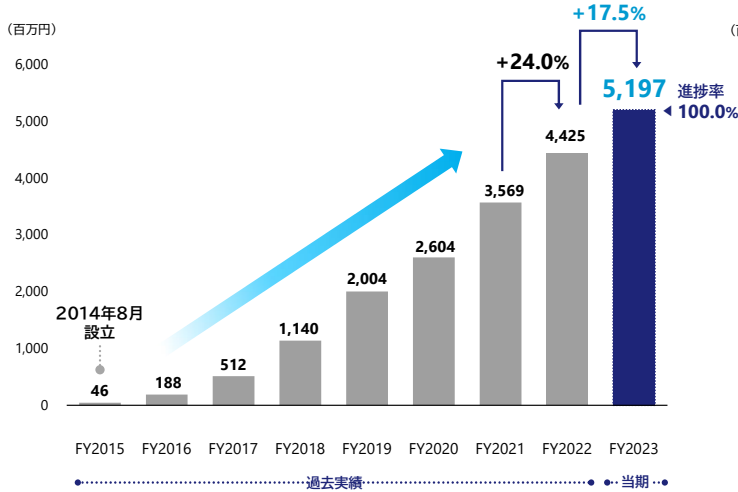
また、利益面に関しては、売上総利益は、前年比20.5%増の18.4億円、営業利益は前年比25.2%増の9.3億円となり今年度についても過去最高の業績を更新して着地しております。

営業利益率についても、目標指標15%以上を超えて今年度は営業利益率18.0%で進捗し、高い営業利益率を維持しております。

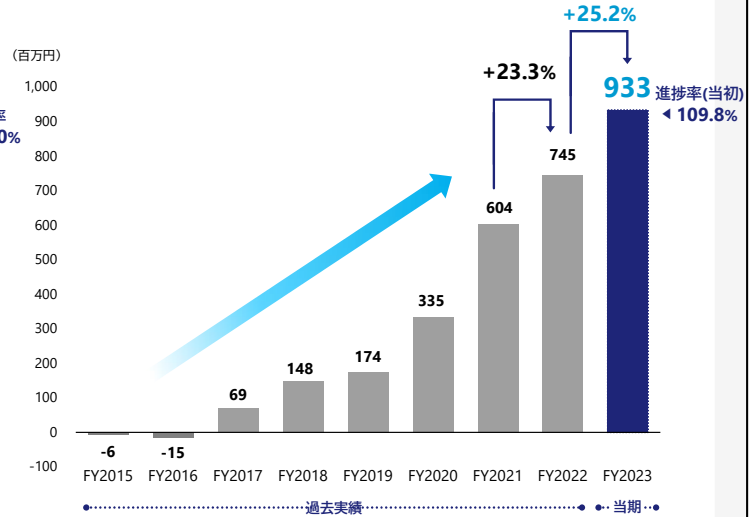
業績推移

■ 業績予想(当初計画)に対する進捗率として、売上高:100.0%(前期 100.9%) | 営業利益:109.8%(前年同期 103.5%)で推移

売上高



営業利益



澤舩:

続きまして、売上高および営業利益の経年での業績推移でございます。

先ほどご説明をした通り、売上高・営業利益とも前年対比で順調に推移し、
 売上高が業績予想比で100%、
 営業利益は当初業績予想対比では109.8%の進捗となっております。

2023年3月期 株主還元サマリー

- 2023年2月9日に配当予想の修正として公表の通り、2023年3月期期末配当金については、1株当たり**28.0円**で確定
- これにより、2023年3月期における**DOE(株主資本配当率)**は、**12.1%**と、目標とする10%を上回って着地

■ 通期 実績



澤岬:

続いて、2023年3月期の株主還元についてご説明致します。

2023年3月期につきましては、
2月9日に配当予想の修正に関するお知らせにて公表致しました通り、
期末配当金として1株当たり配当金28円の剰余金の配当を行うことを決定いたしました。

昨年の中間配当金と併せ、年間配当金は
1株当たり48円となり、前年対比で20%の増配、
また、DOEについては、目標とする10%を上回る、12.1%となっております。

株式会社インターワークスとの合併契約締結について

- 2023年8月1日(予定)に株式会社インターワークスとの経営統合を予定し、本日合併契約を締結
- 新会社名は、株式会社コンフィデンス・インターワークス(英文表記:Interworks Confidence Inc.)

吸収合併存続会社

 Confidence

Vision
クリエイティブの
最前線で共に未来を描く

合併比率

1 : 0.205



吸収合併

吸収合併消滅会社



Vision / 私たちが実現したいこと
WORKS for your dreams!
楽しく活き活きと働き、夢を実現できる社会を

2023年8月1日(予定)

新会社: **株式会社コンフィデンス・インターワークス**

澤岬:

サマリー情報の最後は、本日プレスリリースにて公表いたしました、株式会社インターワークスとの合併契約締結の件でございます。

当社及び株式会社インターワークスは、本日、双方の取締役会決議の上、2023年8月1日を効力発生予定日として吸収合併契約を締結いたしました。

本件は、両社の株主総会での承認を前提としておりますが、両社の株主総会で本合併が承認された場合には当社を吸収合併存続会社、インターワークスを吸収合併消滅会社とする形で、2023年8月1日から、新会社名であります、株式会社コンフィデンス・インターワークスとして事業運営を行っていく予定でございます。

Vision

プロフェッショナルの力と
可能性を信じ、共に未来を創り出す



×



澤岬:

合併後の新会社のVisionは
「プロフェッショナルの力と可能性を信じ、共に未来を創り出す」
こちらとなります。

コンフィデンス、インターワークスのそれぞれの強みを活かして
クリエイターを含めた多様なプロフェッショナルの方々と取引先企業をつなぎ
双方の発展に向けた支援をおこなうことで
プロフェッショナルの皆様の夢の実現と、そこから生み出される価値の向上が
所属組織や業界、社会の発展に繋がっていくといった未来を共に創り出したい

そのような想いがこのVisionには込められております。

こちらをVisionとして掲げ
当社グループの更なる企業価値向上と社会への貢献を
目指してまいりたいということを両社協議の上、決定いたしました。

■ 経営統合の目的



① 人材ビジネスの領域拡大・クロスセルによる事業成長

② メディア事業の強化

③ 経営基盤の強化・管理コストの削減

澤岬:

なお、本経営統合の主な目的は、

- ①人材ビジネスの領域拡大およびクロスセルによる事業成長
- ②メディア事業の強化
- ③経営基盤の強化および管理コストの削減

以上の3点となります。

コンフィデンス、インターワークスそれぞれでサービス内容の細部や対象業界は異なるものの、人材事業とメディア事業を手がける事業体であるという点に関しては双方共通しておりますので統合することによるシナジーは非常に生み出しやすい状況と考えております。

こちらをしっかりと実現させシナジーを発揮していくことでより一層当社グループの成長を加速させ、更なる企業価値向上にむけて推進して参りたいと考えております。

本合併に関する説明会の開催

■ 説明会動画公開日時

■ 2023年5月26日(金)15時半より説明動画を配信予定

本合併に関する内容の説明、
並びに、事前にお問合せのあった質問に対する回答を予定しています

本件のお問合せは
株式会社コンフィデンス 管理本部
(ir@confidence-inc.jp)までお問い合わせ下さい

澤岬:

本日、本件に関する説明は以上とさせていただきますが、
詳細については、5月26日15時半より、
別途本件に関する説明動画を配信予定でございます。

そちらで、改めて本件の詳細についてのご説明と
本日以降、株主の皆様並びに投資家の皆様からお寄せいただいたご質問に対して
回答させていただくことを予定しております。
よろしければご視聴いただけますと幸いです。

本日私からのご説明は以上となりますので
続きまして、当資料の詳細について当社取締役CFO永井より
ご説明をさせていただきます。

02

当社の概要

Company Overview

11

永井晃司(以下、永井):

取締役CFOの永井でございます。宜しくお願い致します。

私の方から、本資料の詳細内容のご説明をさせていただきます。

まずは当社の概要でございますが、こちら、スライドP.12~13に記載がございますので、詳細の説明は割愛させていただきます。

当社概要

Vision

クリエイティブの最前線で 共に未来を描く

クリエイターが
キャリアアップにより自らの夢を実現し、
携わった作品が評価され、
所属する組織、業界、社会が発展する未来を
共に創りあげていく



会社名	株式会社 コンフィデンス		
代表者	代表取締役社長 澤岷 宣之 1996年㈱スタッフサービス入社 人事部採用責任者を経て、㈱スタッフサービス・セールスマーケティング入社、取締役営業本部長として派遣・紹介・アウトソーシング等の各事業部の成長を牽引。2015年より当社代表取締役に就任、現在に至る		
設立	2014年8月		
本社	東京都新宿区新宿2丁目19番1号 ビッグス新宿ビル10階		
支店・スタジオ	【大阪支店】大阪府大阪市北区芝田1丁目12番7号 大栄ビル新館9階 【福岡支店】福岡県福岡市中央区天神1丁目4番1号 西日本新聞会館15階 新設 【QAスタジオ】東京都新宿区新宿2丁目19番13号 坂善新宿ビル9階 移転・増床		
連結子会社	株式会社 Dolphin 株式会社 コンフィデンス・プロ 2023年4月3日設立		
役員	代表取締役社長 澤岷 宣之 専務取締役 吉川 拓朗 取締役 永井 晃司 社外取締役 雨宮 玲於奈 社外取締役 水谷 翠	社外取締役 三木 寛文 社外取締役 青木 利則 社外監査役 谷地 孝 社外監査役 安國 忠彦 社外監査役 藤森 健也	
資本金	508百万円 (2023年3月末時点)		
事業内容	ゲーム・エンタメ業界向け人材派遣・人材紹介・業務受託、メディア運営		
従業員数	958名 (2023年3月末時点)【連結】		

(説明省略)

事業の概要

1. 人材事業

人材派遣事業 | 人材紹介事業

各フェーズ/部門のニーズに対応



アウトソーシング事業

開発～運営フェーズまでアウトソーシング対応



2. メディア事業

メディアサイト運営

Lovely
女性向けメディア



Plush
占いメディア



GAMEMO
Web3関連のインタビューメディア



Webマーケティング事業

メディアサイトの運営ノウハウを基に
SNS運用代行等、プロモーション支援を実施
ゲーム業界のみならず、幅広い業種に対応



(説明省略)

03

連結及びセグメント業績

Consolidated Financial Results and Segment Results

14

永井:

連結及びセグメント業績についてご説明致します。

[全社連結 | 通期]2023年3月期 決算ハイライト

- 売上高及び各段階損益について、前年対比で順調に成長して推移
- 売上総利益率: **35.4%**(目標:30%超)、営業利益率: **18.0%**(目標:15%超)と、高い利益率を維持しながら成長継続

■ 通期 実績

(百万円)	2022年3月期 (通期)	2023年3月期 (通期)	前年 同期比	通期業績予想 -修正- (2023/2/9公表)	進捗率	通期業績予想 -期初- (2022/5/12公表)	進捗率
売上高*	4,425	5,197	+17.5%	5,200	100.0%	5,200	100.0%
売上総利益	1,528	1,841	+20.5%	1,832	100.5%	1,787	103.0%
売上総利益率	34.5%	35.4%	+0.9pts	35.2%	-	34.4%	-
営業利益	745	933	+25.2%	910	102.6%	850	109.8%
営業利益率	16.8%	18.0%	+1.2pts	17.5%	-	16.3%	-
経常利益	737	927	+25.7%	909	102.0%	848	109.4%
当期純利益	530	617	+16.4%	600	103.0%	585	105.6%

* 連結相殺消去後の数値を記載

永井:

2023年3月期通期決算の概要でございます。

冒頭のサマリー情報の中で澤岬からもご説明しました通り、

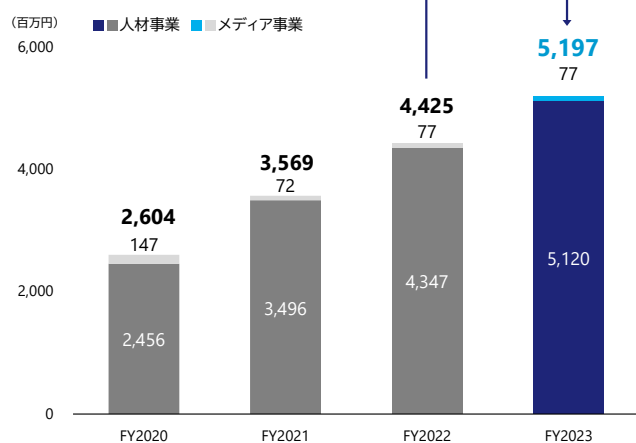
当期においても売上高及び各段階損益について堅調に業績を伸ばすことができ、それぞれ過去最高の業績を達成しております。

また、2023年2月9日に開示しておりました、業績予想の修正の数値に関しても、売上総利益以下段階損益については、修正予想を上回って着地しております。

[全社連結 | 通期] 事業別業績推移

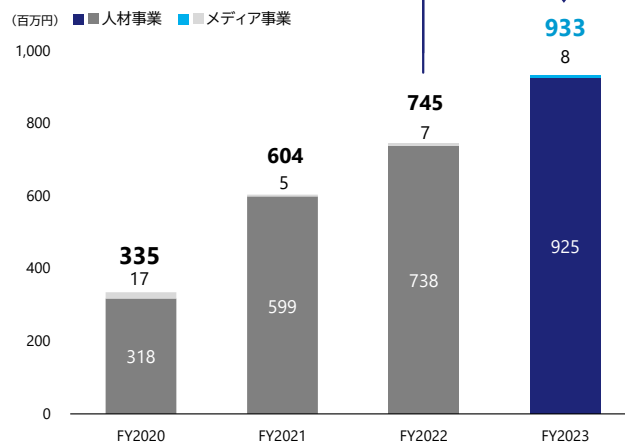
- 事業別での売上高および営業利益については、人材事業が牽引して着地

売上高



* 連結相殺消去後の数値を記載

営業利益



永井:

次に、事業別での売上高及び営業利益についてでございます。

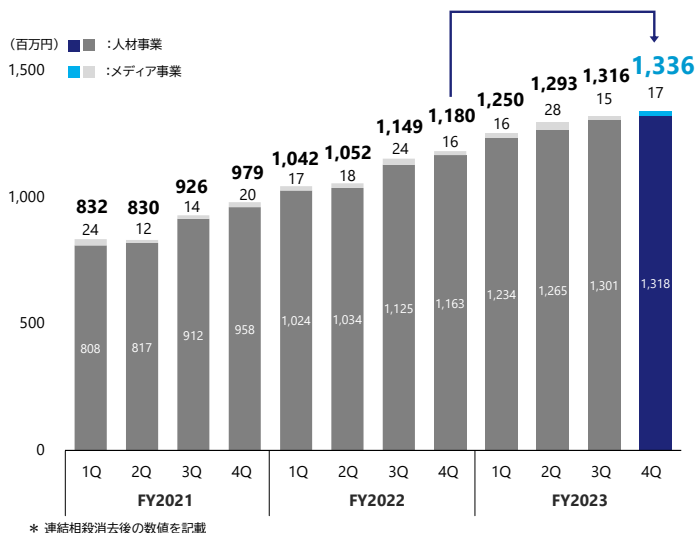
売上高につきましては、人材事業が51.2億円、メディア事業は77百万円の内訳の元、連結では約52億円の着地と前年対比で17.5%増加しており、引き続き人材事業が牽引して成長している状況となっております。

営業利益についても同様に人材事業が牽引しており、人材事業は9億25百万円、メディア事業は8百万円となっており、連結では9億33百万円と前年対比25.2%の増益となっております。

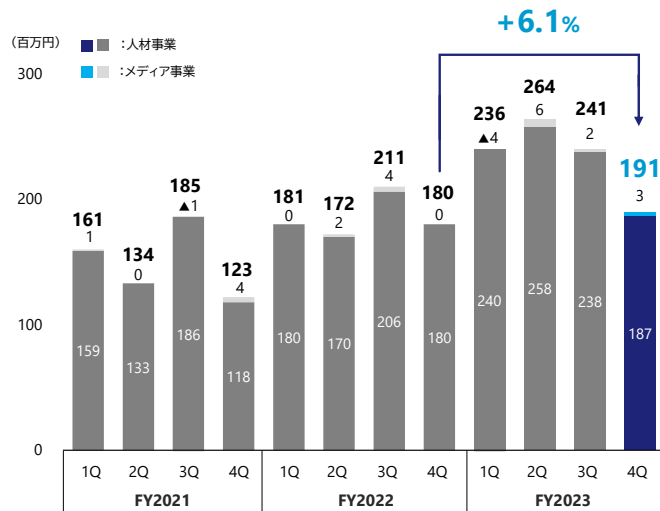
[全社連結 | 四半期]事業別業績推移

- 主軸の人材事業が堅調に推移し、当第4四半期の売上高は、**過去最高の業績**を更新し、右肩上がり推移
- 営業利益について、第4四半期は業績賞与引当金や**QAスタジオ移転・増床**、**福岡支店開設費用**も織り込んだ上で、なお前年同期比**+6.1%**の増益

売上高(四半期推移)



営業利益(四半期推移)



永井:

こちらが、事業別の四半期毎の業績推移でございます。

人材事業について、売上高は継続して毎四半期成長している状況であり、前年同期と比較すると13.3%の成長をしております。

一方、メディア事業につきましては前年対比で、ほぼ横ばいの水準で推移している状況であります。

営業利益の水準につきましては、QAスタジオの移転・増床の影響や本社社員向けの業績賞与引当金を織り込んだこと等から、四半期推移でみると第4四半期につきましては減少している見え方となりますが、

前年同期も同様の傾向でございます、その中でも前年の第4四半期と比較しますと、6.1%の営業利益の成長となっており、業績予想を上回っての達成と来期への投資を踏まえた、予想通りの水準感で着地することができたと考えております。

[人材事業 | 通期] 2023年3月期 決算ハイライト

- 高水準の利益率を維持しながら、着実に売上高、セグメント利益を伸ばす

■ 通期 実績

(百万円)	2022年3月期 (通期)	2023年3月期 (通期)	前年同期比	通期業績予想 -修正-	進捗率
売上高*	4,353	5,138	+18.0%	5,140	100.0%
売上総利益	1,481	1,801	+21.6%	-	-
売上総利益率	34.0%	35.1%	+1.1pts	-	-
セグメント利益	1,166	1,433	+23.0%	-	-
セグメント利益率	26.8%	27.9%	+1.1pts	-	-

* 連結相殺消去前の数値を記載

永井:

続いて、人材事業のハイライト情報でございます。

人材事業の通期業績において、売上高が前年対比18.0%の成長、

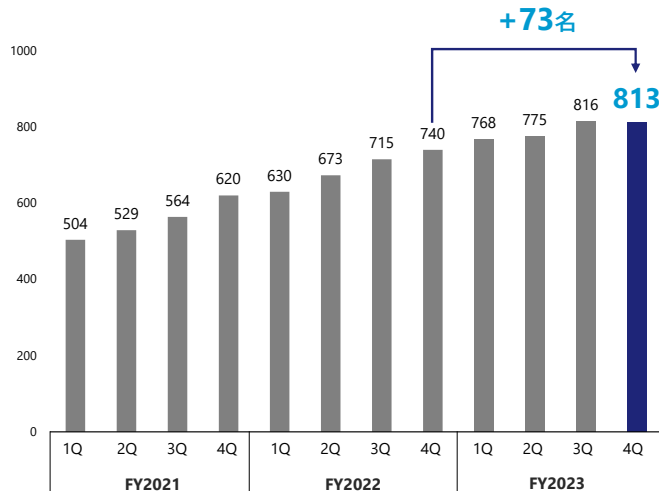
セグメント利益は前年対比23.0%の成長となっております、

また、売上総利益率及びセグメント利益率ともに高い水準を維持した状態で、
安定的に事業運営ができていると考えております。

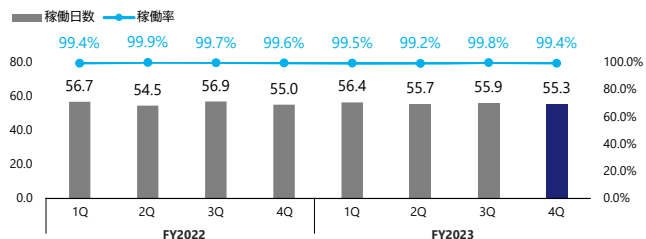
[人材事業]主要なKPIの推移

- 第4四半期で若干停滞するも、ストック型収益モデルの基礎となるクリエイター派遣配属数を着実に増加させ、前年同期から**+73名**の増加
- 稼働率について、昨年から継続し、高い水準を維持

■ クリエイター派遣配属数

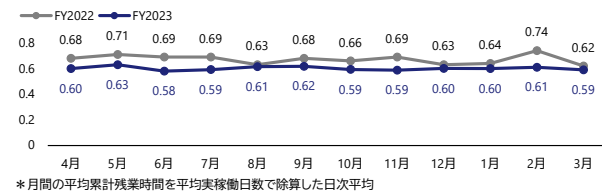


■ 稼働日数*1 / 稼働率*2



*1 月次での各人の勤務日数合計から月末時点での稼働人員数で除した日数の四半期合計
 *2 月末時点での派遣稼働数合計に対して、月末時点での稼働可能人員数合計で除した割合

■ 日次平均残業時間*の推移



*月間の平均累計残業時間を平均実稼働日数で除算した日次平均

永井:

次に、人材事業におけるクリエイター配属数・稼働率・日次平均残業時間についてご説明いたします。

クリエイター配属数は2023年3月末で813名となり、前期末からは73名の増加となっております。

当期を通じては、ゲーム業界が堅調に推移し、派遣稼働数を伸ばすことができているものの、直近四半期末から比較すると、3名減少しており、多少踊り場のような状態となっておりますが、第4四半期の特徴だったと言えます。

しかしながら、成長余地は十分にあると考えておりますので、引き続き当社が最も重視しているクリエイター派遣配属数を順調に伸ばすことで、ストック型の収益モデルの基礎を固め、継続的な売上高の増加を図ってまいりたいと考えております。

[メディア事業 | 通期] 2023年3月期 決算ハイライト

- メディア事業の全社に占める割合は少なく、全社連結への影響は限定的ではあるものの、前年対比で同水準で着地
- 利益水準は最低限黒字を確保した上で、人材事業との連携によるエコシステムの確立・拡大を目指す

■ 通期 実績

(百万円)	2022年3月期 (通期)	2023年3月期 (通期)	前年同期比	通期業績予想 -修正-	進捗率
売上高*	77	77	+0.2%	77	100.4%
売上総利益	46	39	△14.7%	-	-
売上総利益率	60.4%	51.5%	△8.9pts	-	-
セグメント利益	13	18	+37.7%	-	-
セグメント利益率	17.5%	24.1%	+6.6pts	-	-

* 連結相殺消去前の数値を記載

永井:

続きまして、メディア事業の進捗でございます。

メディア事業については、前年対比で概ね同水準で推移しております。

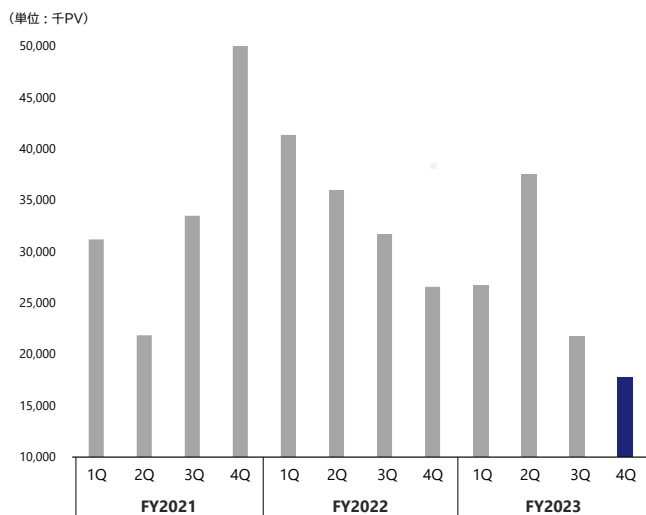
こちらについては、当社グループ業績に寄与するようなSNS運用代行やプロモーションサービスの拡充を目指すべく施策を講じておりますが、現在のところ、その成果が表れるところまで至っていないという状況であります。

現時点における当社のメディア事業の位置付けとしましては、最低限黒字を確保した上で、メディアが持つ集客機能により人材事業との連携を図りながら、メディア事業独自でも拡大を目指してまいりたいと考えております。

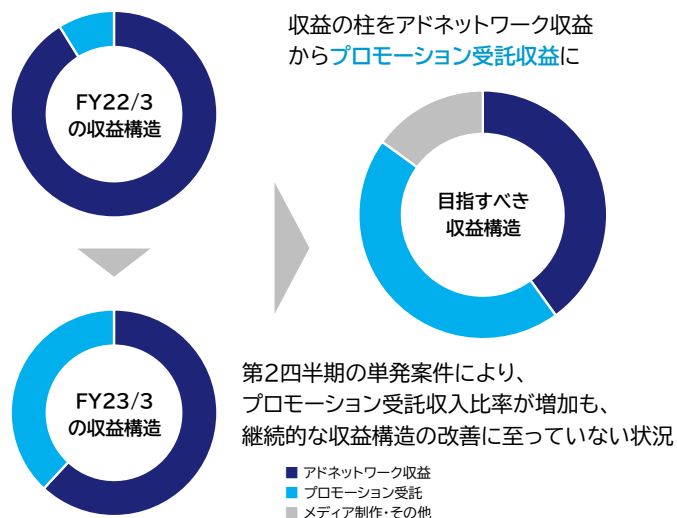
[メディア事業]主要なKPIの推移および目指すべき姿

- PV数については、低調な水準にて推移
- 人材事業との連携によるエコシステムの確立・拡大を目指す

■ PV数の推移



■ 現状の収益構造の改善状況 | 目指すべき姿



永井:

こちらがメディア事業で注力しているKPIおよび収益構造に関する説明スライドとなります。

PV数の推移は、2022年3月期と2023年3月期の通期で比較しますと、減少傾向が続いておりますが、先程の説明の通り利益は確保している状況です。

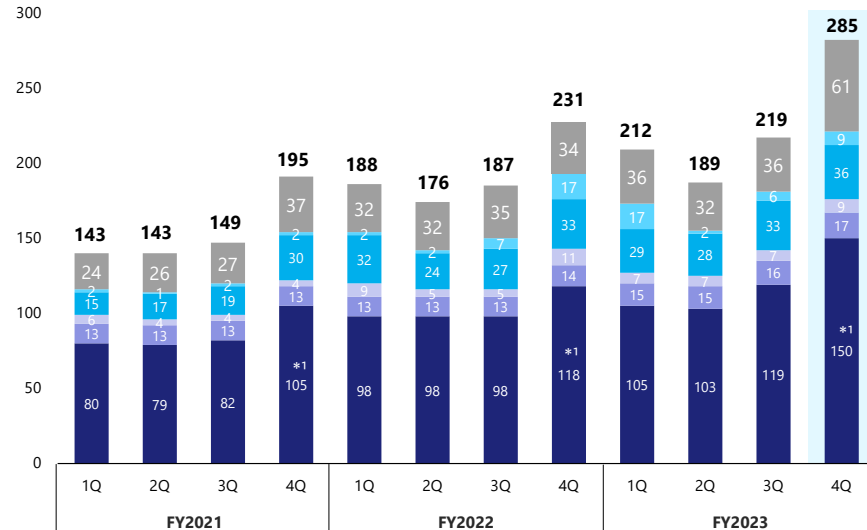
新たな取り組みとして、グリーの子会社であるGlossom様、西日本新聞社様との協業や、ビーグリー様との業務提携を行っておりますが、まだ大きな成果が出るまでに至っておりませんので、引き続き業務拡大に向けて事業推進を行ってまいります。

[全社連結 | 四半期]販売費及び一般管理費の推移

- 売上高の成長と併せて、当社が目標とする利益率を勘案し、将来の成長に備えた投資を実行→適切な販管費コントロールを実施
- 当第4四半期において、業績達成に伴う業績賞与引当金やQAスタジオ移転・増床、福岡支店開設費用も織り込んだ上での着地

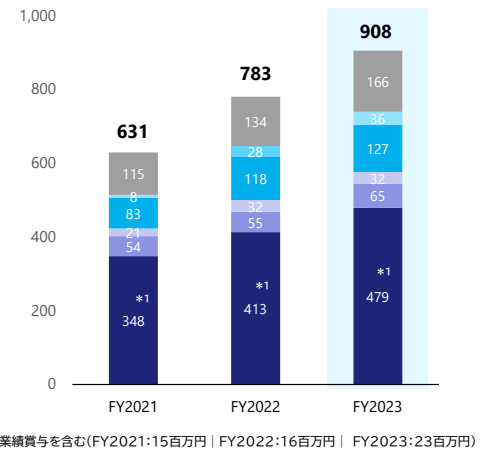
■ 四半期推移

(単位:百万円) ■ 人件費 ■ 地代家賃 ■ 租税公課 ■ 支払手数料 ■ 減価償却費 ■ その他



■ 年度推移

■ 人件費 ■ 地代家賃 ■ 租税公課 ■ 支払手数料 ■ 減価償却費 ■ その他



永井:

販売費および一般管理費の四半期推移並びに通期合計で見た際の推移がこちらのスライドとなります。

第3四半期と比較して、科目ごとにみますと人件費が増加しております。

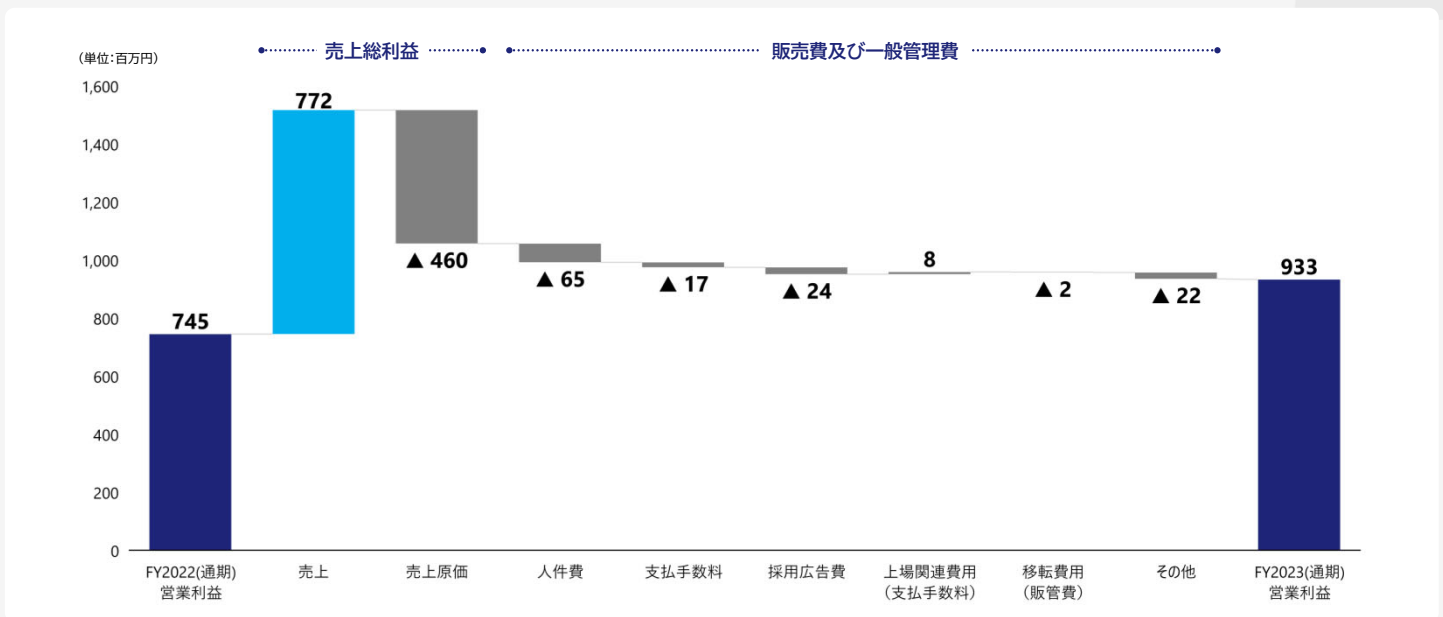
こちらは、当期の業績が順調に推移したことから、更なる拡大に向けた本社スタッフの採用等を中心に人的投資を行ったこと、また業績予想対比での利益水準の達成を踏まえ、業績賞与を引き当てたことによるものです。

また、その他の増加は認知度向上のための広告宣伝費の増加や、福岡支店開設並びにQAスタジオの移転増床に伴う支出費用等の増加によるものです。

他は大きな増減はなく、想定した販売費および一般管理費の着地となっております。

[全社連結] 営業利益の増減要因分析(対前年同期比)

- 業容拡大に伴い、売上総利益は順調に増加し、営業利益拡大に貢献
- また、継続した成長に向け、本社社員の採用、認知拡大に伴う施策を実施



永井:

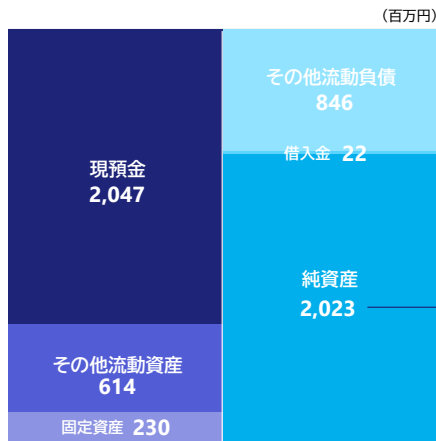
こちらは、前期と比較した営業利益の増加要因の主な影響をまとめたスライドとなります。

粗利の増加と前ページの販管費の増減によるものが主な影響となりますので、ご参照頂ければと存じます。

[全社連結]貸借対照表・キャッシュフロー計算書

■ 財務安全性についての懸念はなし(ネットキャッシュ:20.2億円 | 自己資本比率:69.6%)

FY2023 4Q末 B/S



資本金	508百万円
資本剰余金	400百万円
利益剰余金	1,104百万円
自己株式	Δ0百万円
新株予約権	11百万円

FY2023 4Q C/F

(百万円)

2022年3月末現預金残高	1,724
営業CF *	+748
投資CF	▲82
財務CF **	▲343
現預金増減額	+322
2023年3月末現預金残高	2,047
* 営業CF小計+965百万円、法人税等の支払い▲205百万円、その他▲11百万円	
** 配当金の支払額▲274百万円、借入金返済▲90百万円、その他+21百万円	
財務指標	
ネットキャッシュ	20.2億円
自己資本比率	69.6%

永井:

続いて、貸借対照表及びキャッシュフロー計算書についてご説明致します。

スライド左側の貸借対照表については前四半期から継続し、十分な現預金を保有している状況でございます。

なお、3月に当社役職員の新株予約権の権利行使がございましたので、資本金・資本剰余金がそれぞれ約10.6百万円増加しております。

連結キャッシュフロー計算書については、堅調に業績推移していることから営業CFは約7.5億円増加、投資CFは2022年5月に行った本社移転にかかる支出、また、大阪支店、福岡支店等の支店開設にかかる投資や保証金の差入等を踏まえ、82百万円の支出となっております。

財務CFは、新株予約権行使による収入約21百万円、長期借入金の返済90百万円、及び配当金の支払い約2.7億円により、3.4億円の支出となっております。

結果として、当年度に増加した現預金の金額は3.2億円、

23年3月末の現預金残高は20.4億円、ネットキャッシュは20.2億円、

自己資本比率は69.6%と財務安全性について特段問題ない状態でございますし、2023年5月末には借入金も完済する予定です。

04

株主還元

Dividend Distribution

永井:

続きまして、株主還元の詳細となります。

2023年3月期 剰余金の配当

- 23/3月期については、前期から増配し、通期において1株当たり**48.0円**(期末:28.0円)で確定→支払開始日:2023年6月14日(予定)
- 目標指標として定めている配当性向、DOEについて、いずれも目標値を上回る形で株主還元を実施

目標指標		配当予想 目標指標	2023年3月期 (確定)	予想比 目標比	2022年3月期 (前期)	前期比
資本効率の向上	株主還元	1株当たり配当金	48.0円 (内、中間:20円)	±0.0円	40.0円 (内、中間:0円)	+20.0%
ROE	×	配当性向	35.6%	+5.6pts	33.8%	+1.8pts
DOE (株主資本配当率)		DOE	12.1%	+2.1pts	15.7%	△3.6pts

永井:

当社は資本効率の向上の観点、安定的な株主還元の両方を鑑みた上で、配当方針を決定しておりますが、

2023年3月期においても、昨年同様に期初設定した目標水準を上回って推移し、期末配当金1株当たり28円、通期で見た際には1株当たり48円の着地となります。

期末日を基準日とする支払いにつきましては、2023年6月14日の支払開始を予定しております。

今後につきましては、冒頭澤岬より説明しております、合併案件を踏まえ、統合後の配当方針や目標指標を改めて発表したいと考えております。

なお、将来の事業拡大と財務体質の強化のために必要な内部留保を行いつつ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とすることにつき、大きな変更の予定はございません、という点だけ、付け加えさせていただきます。

05

成長戦略の進捗／事業トピック

Progress of Growth Strategies／Business Topics

27

永井:

続いて、成長戦略の進捗／事業トピックについてでございます。

成長戦略(全体像)

- 2021年6月の上場時に公表した**6つの中長期成長戦略**に沿って、事業規模拡大を継続

6つの中長期成長戦略

顧客深耕とエコシステムの確立



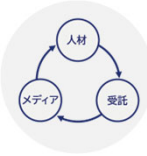
顧客深耕による派遣事業の
圧倒的シェア獲得

派遣



クロスセル強化による
取引機会の最大化

派遣 × 紹介 × 受託



エコシステムの確立による
経営効率向上

人材事業 × メディア事業

対象市場及び受託事業拡大で得られた知見から新市場へ



人材サービスの業容拡大
業界 | エリア | 契約形態

エンタメ業界 地方拠点 フリーランス



受託事業の拡大による
規模拡大と知見蓄積

プロモーション関係 ゲーム関係受託



マッチングソリューションの拡大
新領域への展開

Web3.0 メタバース 他領域

永井:

こちらの6つの成長戦略については、2021年6月の上場時に公表しております、

事業計画及び成長可能性に関する事項に記載の内容の再掲となります。

基本的な考え方は上場時に公表した当戦略から変わることはなく、

例えば2023年3月期については、大阪支店や福岡支店の出店、QAスタジオの移転・増床等、

足もと、進行期であります2024年3月期の成長を加速させるための種まきを実施することができたと考えております。

成長戦略：人材サービスの業容拡大【フリーランス領域への参入】

2023年2月9日プレスリリース



人材サービスの業容拡大

業界 | エリア | 契約形態

エンタメ業界

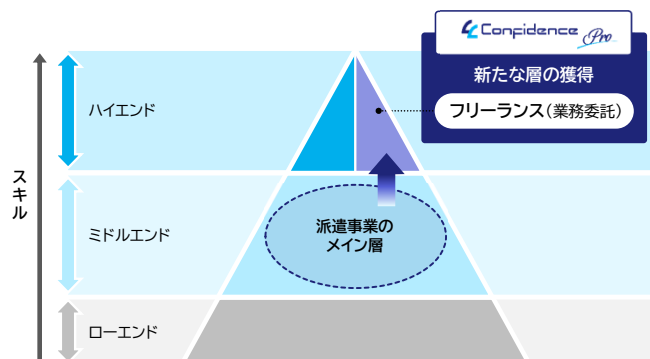
地方拠点

フリーランス

会社名	株式会社コンフィデンス・プロ
所在地	東京都新宿区新宿2丁目19番1号 ビッグス新宿ビル 10階
代表者	吉川 拓朗
設立年月日	2023年4月3日
資本金	3,000万円
事業内容	ゲームエンタメ業界向け フリーランスマッチング事業
出資比率	株式会社コンフィデンスの100%出資子会社

設立背景

- ・ハイレイヤー人材のアサイン、フリーランス希望人材といった新たな層の需要取り込み
- ・多様な働き方への対応の実現
- ・フリーランス事業の展開により人材派遣事業とシナジーを発揮



Confidence

29

永井：

各四半期での取り組み状況については、第3四半期までの決算説明資料に掲載しておりますので、本資料上では割愛しておりますが、
本日は、2023年4月3日に新たに設立いたしました、
株式会社コンフィデンス・プロについて、簡単ではございますがご報告いたします。

2023年2月9日に適時開示にて公表しておりました通り、予定通り2023年4月3日を設立日として、
株式会社コンフィデンス・プロを設立いたしました。

前ページでの成長戦略でも当初より掲げておりました通り、
これまで当社が主力として事業運営を行ってまいりました、派遣事業に加え、
昨今のフリーランス市場の拡大やフリーランス人材の増加を踏まえ、フリーランス領域に進出いたしました。

当社が多様な契約形態を展開することで、クリエイター及びクライアント企業の双方により幅広いサービス提供
できる可能性が広がること、現在の当社クリエイターのキャリアの選択肢が多様化すること、フリーランスとの
ネットワーク形成によって高スキル人材とチーム組成が可能となること等、
既存事業との親和性は非常に高いものと考えております。

成長戦略に則った形で、既存事業と並行して、フリーランス領域について今後伸ばしていきたいと考えており
ます。

06

合併契約の概要

Overview of Merger Agreement

30

永井:

最後に冒頭のサマリー情報でもふれました、合併契約について、補足させていただきます。

P.31～34はサマリー情報と同様もしくは参考情報となりますので、説明を割愛させていただきます。

スライド35ページ、新会社の概要および、今年度2024年3月期の役員体制でございます。

株式会社インターワークスとの合併契約締結について

- 2023年8月1日(予定)に株式会社インターワークスとの経営統合を予定し、本日合併契約を締結
- 新会社名は、株式会社コンフィデンス・インターワークス(英文表記:Interworks Confidence Inc.)

吸収合併存続会社

 Confidence

Vision
クリエイティブの
最前線で共に未来を描く

合併比率

1 : 0.205



吸収合併

吸収合併消滅会社



Vision / 私たちが実現したいこと
WORKS for your dreams!
楽しく活き活きと働き、夢を実現できる社会を

2023年8月1日(予定)

新会社: 株式会社コンフィデンス・インターワークス

(説明省略)

会社概要：株式会社インターワークス



会社名	株式会社インターワークス			
代表者	代表取締役社長 松本 和之			
設立	1991年3月			
本社	東京都港区西新橋1丁目6番21号 NBF虎ノ門ビル8階			
拠点	【大阪】大阪府大阪市淀川区西中島5丁目5番15号 新大阪セントラルタワー南館10階 【名古屋】愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目10番22号 メットライフ名駅南ビル3階			
決算期	3月			
役員	代表取締役社長 取締役 社外取締役 社外取締役	松本 和之 藤森 健也 清水 新 早川 与規	常勤監査役 社外監査役 社外監査役 執行役員 執行役員	丸田 善崇 高倉 潔 山口 財申 前田 拓郎 工藤 政嗣
資本金	172百万円（2023年3月末時点）			
事業内容	メディア&ソリューション事業・人材紹介事業・採用支援事業			
従業員数	190名（2023年3月末時点）			

(説明省略)

Vision

プロフェッショナルの力と
可能性を信じ、共に未来を創り出す



(説明省略)

■ 経営統合の目的



① 人材ビジネスの領域拡大・クロスセルによる事業成長

② メディア事業の強化

③ 経営基盤の強化・管理コストの削減

(説明省略)

新会社の概要(予定)

会社名	株式会社コンフィデンス・インターワークス	役員体制	代表取締役社長	澤岨 宣之	常勤	経営全般
英文表記	Interworks Confidence Inc.		専務取締役	吉川 拓朗	常勤	人材・メディア事業管掌
上場市場	東証グロース市場		常務取締役	工藤 政嗣	常勤	紹介事業管掌 新任
証券コード	7374		取締役	永井 晃司	常勤	管理本部管掌
代表	代表取締役社長 澤岨 宣之		社外取締役	雨宮 玲於奈	非常勤	
本社	東京都新宿区新宿2丁目19番1号 ビッグス新宿ビル10階		社外取締役	水谷 翠	非常勤	
事業内容	HRソリューション事業(人材派遣・受託・人材紹介) メディア&ソリューション事業		社外取締役	三木 寛文	非常勤	
決算期	3月末		社外取締役	早川 与規	非常勤	新任
			社外監査役	谷地 孝	常勤	
			社外監査役	安國 忠彦	非常勤	
			社外監査役	藤森 健也	非常勤	
			社外監査役	丸田 善崇	非常勤	新任

永井:

2023年8月1日以降の新会社の状況を、スライド左側に記載しております。

また、スライド右側に記載しております、今年度の役員体制につきましては今回の合併契約を踏まえ、当社およびインターワークス双方の取締役・監査役がそれぞれ入る形を予定しております、来たる2023年6月28日の当社株主総会において選任決議を付議する予定でございます。

なお、工藤常務取締役、早川社外取締役、丸田社外監査役につきましては、当社およびインターワークス双方の株主総会での「吸収合併契約承認の件」が承認可決されることを前提に、合併の効力発生日として予定しております、2023年8月1日付で、当社役員に就任する予定でございます。

本合併のスケジュールおよび2024年3月期 連結業績 | 配当予想の取扱い

■ 経営統合スケジュール

合併契約締結日	2023年5月12日
定時株主総会決議日 (株式会社インターワークス)	2023年6月23日 (予定)
定時株主総会決議日 (株式会社コンフィデンス)	2023年6月28日 (予定)
最終売買日 (株式会社インターワークス)	2023年7月27日 (予定)
上場廃止日 (株式会社インターワークス)	2023年7月28日 (予定)
合併の効力発生日	2023年8月1日 (予定)

■ 2024年3月期 連結業績予想 | 配当予想

本件の影響を含め、当期の連結業績予想および、配当予想を正確に算定することが困難であることから、現時点で「未定」とさせていただきます。

なお、今後、予想値の開示が可能となった時点で速やかに開示を行う予定であります。

永井:

最後に、こちらのスライドにて、本合併に関するスケジュールを記載しておりますので、ご参照いただければと思います。

また、本件の影響を踏まえ、現時点におきましては、2024年3月期の統合後の連結業績予想及び配当予想を正確に算定することが困難であることから、

当該開示につきましては現段階において「未定」とさせていただきます。

なお、今後、予想値の開示が可能となった時点で速やかに連結業績予想および配当予想の開示を行う予定でございます。



クリエイティブの最前線で共に未来を描く

本資料のお問い合わせ先: 管理本部 (ir@confidence-inc.jp)

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社に関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

永井:

以上をもちまして、当社からの本日のプレゼンテーションを終わりたいと思います。

ご視聴ありがとうございました。